

東北地区（宮城県，岩手県，青森県，秋田県，
山形県，福島県）…………… 2名
 関東地区（東京都，神奈川県，千葉県，茨城県，
埼玉県，群馬県，栃木県，新潟県，山
梨県）…………… 8名 加算分 5名
 中部地区（富山県，石川県，福井県，長野県，
静岡県，愛知県，岐阜県，三重県）
…………… 2名
 関西地区（大阪府，京都府，滋賀県，和歌山県，
奈良県，兵庫県，鳥取県，島根県，岡
山県，広島県，香川県，愛媛県，徳島
県，高知県）…………… 4名
 九州地区（山口県，福岡県，佐賀県，長崎県，

大分県，熊本県，宮城県，鹿児島県）
…………… 3名

- 沖縄地区（沖縄県）…………… 1名
2. 監事は，通常会員の中から2名互選される。
 3. 通常会員は，理事および監事に立候補することができる。
 4. 他の通常会員によって書面により理事および監事に推薦され，かつそれを承認した通常会員は，推薦候補となることができる。
 5. 理事および監事は，立候補者および推薦者以外の通常会員からも選挙される。
 6. 理事および監事の選挙は，それぞれ種類別に連記する無記名文書投票とする。

≡≡≡ 支部だより ≡≡≡

関西支部第13回夏季大学報告

大阪管区气象台および大阪市，大阪府，京都府，兵庫県，奈良県，和歌山県，滋賀県の各教育委員会の後援を得て，今年の夏季大学は，身近に起こる気象現象に親しみをもって，地球大気の実態にせまってみようということをやキャチフレーズに，「大気の流れをみる」がテーマで7月25日（木），26日（金）にかけて開催しました。

講座内容は，京都大学の岩嶋先生による「地球をとりまく大気の流れ」，和歌山大学の伊藤先生による「日本付近の大気の流れ」，京都大学の田中先生による「局地的な大気の流れ」，大阪管区气象台の熊井主任予報官による「天気図を読む」で，非常に身近かな大気の流れが，実は，地球規模等のより大きな流れに大きく影響を

受けていること，これらは天気図から読取れること等わかりやすく講義していただきました。

参加された方は88名で，その受講者層は学校の先生方が半数近くでしたが，一般学部の学生，農業関係の方等とバラエティに富んでいました。また，各講座終了後には，例年になく質問が多く，梅雨について最新の学問的見地からの説明に対して，ある中学の先生から子供たちにどのように教えたらいのかという質問が出されたのが印象的でした。

最後に，開講にあたりまして，後援いただいた各教育委員会および報道機関等の御協力いただいた方々に対しここに深く感謝いたします。